

【学校図書館の地域開放について】

子どもたち・地域住民の読書活動の充実などを図るため、地域と学校が協働し、子どもたちを育む活動の一環として、各校で日程や取組を工夫し、学校図書館の地域開放を行いました。

取組は、主に学校司書を配置する中学校で行われ、保護者・子どもたちにとって、図書を通して様々な交流を行う有意義な機会となりました。これまでの取組事例の一部をご紹介します。



令和3～5年度の各校の取組事例

授業参観等の機会活用

- 授業参観・個人懇談等の日程に合わせ、保護者・児童・生徒を対象に、図書館を開放しました。
- 館内の自由閲覧や学校司書による図書の紹介サポートのほか、一部の学校では、貸出も行いました。



貸出の様子（恵山中）

【実施校】

青柳中・港中・深堀中・湯川中・桔梗中・
亀田中・本通中・恵山中・戸井学園

（幼）小中の連携

- 五稜郭中では、校区の小学生を招待し、地域コーディネーターの調整・地域ボランティア協力のもと、ブックコートや図書の分類などの学校司書の仕事体験を行いました。
- 戸井学園では、校区の戸井幼稚園園児を招待し、学校司書による大型絵本の読み聞かせなどを行いました。



読み聞かせの様子（戸井学園）

【実施校】

五稜郭中・戸井学園

小学校での開放

- 小学校における図書館開放のニーズを探るため、弥生小協力のもと、個人懇談の日程に合わせ、保護者・児童を対象に、放課後に図書館を開放しました。
- 保護者の利用のほか、多くの児童が読書や自習をして過ごしました。



自由閲覧の様子（弥生小）

【実施校】

弥生小